

広報 南丹

こうほうなんたん

2024

2-3

vol.123

Nantan health recipe

Topics

- ・にゃん探に聞いてみよう！
～AIチャットボットを
導入しました～
- ・4月1日から
市の組織が変わります

特集

南丹市 健幸・食育 レシピコンテスト

南丹市健幸・食育レシピコンテスト

規則正しい生活習慣と心身の健やかな成長について食生活を見つめ直す機会になるように開催された「南丹市健幸・食育レシピコンテスト」。市内在住の小中学生の皆さんから382点の応募がありました。今号では、コンテスト表彰式の様子と見事受賞・入選に輝いたレシピを紹介します。

Nantan healthy recipe

夏休みに南丹市内の小中学生から「野菜」を使用し、手早く簡単に作れる「朝ごはんレシピ」と「塩分控えめ」「脂肪分控えめ」などを意識した「かつおだし」を用いた「和食健幸レシピ」を募集しました。

一次審査では、朝ごはんレシピ271品、和食健幸レシピ111品の中から、特に優秀な作品を10作品選考しました。二次審査では、南丹市がお世話になる団体の代表者を迎え、10作品から書類審査と試食で6品の受賞レシピと4品の入選レシピが決定しました。

・「南丹産米粉と豆乳のガレット」は軽やかな豆乳を使用して、栄養のバランスが良く、お洒落な一品。

・「きつね玉野菜丼」は、好みて七味や一味を加えると味が変化し、たんぱく質と野菜がたっぷりとれる一品。

・「大葉香る、そうめんチャンプルー」は、夏バテ予防の大葉を使い、ごま油で香ばしさを出すことで、夏だけでなく、年中そうめんを美味しく頂けます。

・「朝からシャキッと！MBNサンド」は、壬生菜とツナを加え、小さ

なお子さんにも食べやすい一品。

・「和風鶏だんごスープ」は、肉だんごに生姜が入っているので、寒い冬には体が温まり、夏はオクラ、トウガンなど旬の食材もおいしく食べられる一品。

・「和風根菜スープカレー」は、幼児から大人まで大好きなカレーを用いて、食物繊維の多い根菜が食べやすくなっています。

※受賞・入選レシピは、南丹市ホームページにて掲載しています。



南丹市産米粉を使用!!



南丹市商工会長賞
南丹産米粉と豆乳の方レット
南丹市立八木中学校 浅田 悠一郎さん



野菜とたんぱく質がたっぷり



南丹市健幸まちづくり推進協議会長賞
きつね玉野菜丼
南丹市立八木中学校 吉田 夏樹さん



手作りのめんつゆが味の決め手



南丹市食生活改善推進員協議会長賞
大葉香る、そうめんチャンプルー
南丹市立八木東小学校 中嶋 志帆さん



みんな大好き
ツナマヨ味



南丹市食の生産者賞

朝からシャキッと！MBNサンド

南丹市立園部第二小学校 上野 陽菜さん

旬の食材で年中
楽しめる！



学校給食賞

和風鶏だんごスープ

南丹市立美山中学校 古谷 美桜さん

鰹だしと根菜を
ふんだんに使用



保育所給食賞

和風根菜スープカレー

南丹市立八木中学校 益田 春帆さん

「南丹市健幸・食育レシピコンテスト表彰式」



12月14日、アスエル
そので開かれた南
丹市健幸・食育レシ
ピコンテスト表彰式
には、市団体賞を受
賞した4名と入選者2
名が出席しました。

「誰もが手軽に美味しく栄
養が取れる」ということを
コンセプトに、家族と一緒
にレシピを考えたという
上野さん。スピーチで「受
賞したと聞いた時は、とて
も驚きましたが、素晴ら
しい賞をいただいたこと
の喜びに胸がいっぱいで
す」と喜びを語りました。



「入選レシピ4作品の紹介」

入選した料理につい
ては、お弁当のおか
ずに活用できるよ
うなものなど、栄
養満点で素晴らしい
レシピが選ばれました。



- ①「とろり米粉スープ」
起塚 美羽さん
- ②「カラフルコールスロー
サラダ」治田 夕希穂さん
- ③「野菜タップリハッシュ
ドキャベツ」出畑 晴輝さん
- ④「長いもの肉じゃが風煮」
小寺 そらさん

応募された全てのレシ
ピにおいて、食材に
応じた切り方、大
きさや彩りの工夫、
ゆでる、煮る、焼く
、とろみをつける
など考え抜かれた作
品が多数寄せられま
した。

※掲載した写真は
応募されたレシ
ピを基に調理したも
のです

審査員長の総評

実は、私は食べ物の好き嫌いが多く、審査員長に選ばれた際は大変戸惑いました。しかし嫌いな食べ物の中には、食わず嫌いのまま苦手意識を持っているものもあります。いかに子どもの時から好き嫌いなく色々なものを口にすることが大事なことはないでしょうか。市内のお子さんが、これだけ多くのレシピを考えてくれたということは、それだけ食に関心を持ってきているということです。この事業をきっかけに好き嫌いを無くし、バランスの良い「健幸」な食生活を市内の皆さんに送っていただければ嬉しく思います。



商工会 女性部
谷 智恵美 さん

「にゃん探」に聞いてみよう！



にゃん探に聞いてみるにゃ！

「AIチャットボットを

導入しました」

南丹市では、市民の皆様からのお問い合わせに対する利便性向上などを目的に、令和6年2月1日から、チャットボットシステムを導入しました。

「検索できる内容は？」

令和6年2月1日のスタート時点では、税に関連する情報と、市役所の代表電話でよくお問い合わせいただいている限定的な情報しか検索できませんが、順次、検索範囲を拡げていく予定をしています。

たくさんご質問いただき、皆さんと一緒に育てていきたいと思っています。

「チャットボットってなに？」

「チャットボット」とは、会話を表す「チャット」とロボットの表す「ボット」を組み合わせた言葉で、皆様からのお問い合わせに対して、自動で返答してくれる「自動会話プログラム」のことです。

南丹市が採用したチャットボットはAI（人工知能）が搭載されており、質問データが蓄積されるにつれて学習し、できるだけの確な返答をするようになります。

「チャットボットのメリットは？」

チャットボットは、パソコンやスマートフォンから24時間365日自動応答で利用できるため、平日の日中がお仕事の方など、市役所の閉庁時（土日祝日や夜間など）にお問い合わせさせていただくことが可能となります。

ほかにも、気軽に問い合わせをしたい時や、知りたいことがホームページで見つからない時にもご利用いただけます。

「どうやって使うの？」

南丹市ホームページ（トップ画面）を開くと、画面右下に、「にゃんたん市プロジェクトのキャラクター」にゃん探が現れます（左ページ中段参照）。

「にゃん探」をクリックすると質問ウィンドウが表示されるので、お問い合わせ内容を選択いただくか、ご質問の内容を下部のテキストボックスに入力いただければ、回答が表示されます。

生まれたてなので
お答えできることがまだ少ないけれど
みなさんのご質問にお答えできるよう
ガンバルにゃ！



🐾「LINEからも使えるの?」

南丹市ホームページ以外にも、南丹市公式LINEから利用できます。(ページ下段参照)
南丹市公式LINEから使用するためには、事前にお友達登録が必要になります。

(お友達登録用
二次元コード)



南丹市公式LINEの下側に表示されるリッチメニューの「ちゃん探」をクリックすると、質問ウィンドウが表示されるので、お問い合わせ内容を選択いただくか、質問内容を入力してください。

※今後、随時更新を行いますので、実際の画面とは異なる場合があります。ご了承ください。

【南丹市ホームページから利用する場合】



【南丹市公式LINEから利用する場合】



クリック



問い合わせ先 情報課
TEL (0771) 68-0066

令和5年度南丹市表彰式

令和6年1月18日、南丹市国際交流会館で、それぞれの分野で多年にわたりご活躍された方、また、南丹市に縁故の深い方で、市政の発展や公共の福祉の推進などに広く社会に貢献された方をたたえ、令和5年度南丹市表彰式を開催しました。

式典では、名誉市民表彰1名、功績者表彰6名、感謝状を2団体に贈呈いたしました。



功績者表彰(6名)

松永 良子さん

社会福祉法人未生会 理事長として経営に従事し、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

鍋田 和夫さん

南丹市民生委員・児童委員として、多年にわたり地域福祉の向上に貢献

池田 由香さん

社会福祉法人京都太陽の園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

坪倉 智子さん

社会福祉法人あけぼの学園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

中島 明美さん

社会福祉法人京都太陽の園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

八木 美枝子さん

社会福祉法人あけぼの学園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

感謝状(2団体)

船井医師会

新型コロナウイルス集団接種の実施において、令和3年5月から市と連携し接種の推進と、安心して安全な市民生活の実現に貢献

船井薬剤師会

新型コロナウイルス集団接種の実施において、令和3年5月から市と連携し接種の推進と、安心して安全な市民生活の実現に貢献



▲出席者の皆さんと記念撮影(左：梅若 景久さん、梅若 幸子さん(名誉市民 梅若 実 桜雪さんの代理) 右：功績者・感謝状を贈呈した団体の代表者)

南丹市名誉市民

令和5年12月22日、南丹市名誉市民条例の規定により、議会の同意を得て決定しました。南丹市名誉市民は、梅若 実 桜雪さんで5人となりました。



◆梅若 実 桜雪さん

南丹市日吉町殿田発祥の能楽の座、梅若家の当主で人間国宝。伝統と芸術の継承に力を注がれ、文化の進展に寄与。

●受賞コメント

この度は南丹市名誉市民に選んでいただき、本当に嬉しく思っております。

昨年9月に、念願の南丹市での公演を行わせていただいた際、舞台に立ちながら梅若家の源流の地へ帰ってこれたという想いがあふれました。そしてこのような栄誉に預かり、市の一員になれた事でさらにこの地への想いが深くなりました。何より、殿田の曹源寺にある先祖の墓や、縁の地を地域の皆様が守ってくださっていたおかげで私共、梅若家の心の故郷が今もここにある事、心より感謝申し上げます。

今後も私をはじめ、梅若家一丸となって何か恩返しができないかと考えてまいります。

ありがとうございました。

introduction



▲南丹市凱旋公演で熱演された梅若 実 桜雪さん



▲凱旋公演後、殿田小学校の児童と記念撮影

4月1日から 市の組織が変わります

少子高齢化の進む日本において、特に厳しい状況にある当市のさまざまな行政課題に対応するため、限られた財源、限られた人員の中で、効率的、効果的に、時代の変化に対応した公共サービスを図るため組織改正を行います。



改正の方針(目指す組織)

1. 国が掲げる異次元の少子化対策への対応ができる組織
2. デジタル改革で自治体機能が発揮できる組織
3. 技師人材の育成・知識の継承・習得ができる組織
4. 組織課題を分析し、常に時代に即して見直していく組織
5. 限られた人員で効率的に業務を行う組織

主な組織の変更点

1. 少子化対策

妊娠・出産から就職までの子どもの未来を一貫教育としてとらえ、子ども政策を一元化させるため、教育委員会内にこども家庭センターを設置します。

- こども家庭センター
 - こども家庭課
 - 幼児教育・保育推進課

2. デジタル推進

デジタル技術を積極的に活用し、各種手続きの利便性向上、行政業務の効率化を推進していくデジタル改革推進係を地域振興部情報課に設置します。

- 情報課 デジタル改革推進係

3. 技師人材の育成・技術の継承

不足する技師職員の人材確保の課題に対し、技師を集約し、若手技師職員の育成ができる体制づくりを進めます。

- 建設整備課
- 農山村振興課 農林整備係

4. 持続可能な行政運営

持続可能な行政運営のため、行政改革の視点に立ち、その時々時代に即し、事業の状況や変化など、組織課題を分析し、組織の検証を進めます。

5. 効率的な行政運営

少数の職員で質の高い公共サービスが提供できる組織を目指します。

- 危機管理課
- スポーツ推進課
- 商工観光課
- 健幸まちづくり課
- 会計課
- 農業推進課内に農業委員会事務局を設置
- 学校教育課に教育総務課の業務を統合

課や係の再編・統合により、次のページのとおり改正しました



問い合わせ先 人事課 Tel (0771) 68-0008

部	課	係	主な業務	4月からの問合先
市長公室	企画財政課	企画係・財政係	市総合計画、予算編成、財政計画 など	68-0018
	秘書広報課	秘書係・広報係	秘書、広報・広聴 など	68-0065
総務部	総務課	行政係・資産活用係	議会招集、例規制定改廃、選挙、普通財産管理、指定管理、市有財産処分、防犯対策、交通安全 など	68-0002
	人事課	人事給与係	人材育成、職員の任免・服務 など	68-0008
	税務課	市民税係・資産税係	市税の賦課徴収・収納整理 など	68-0004
	監理課	監理係	入札参加資格の審査及び認定、工事等の入札・検査・指導 など	68-0086
	八木支所総務課	総合支援係・市民窓口係	地域総合支援、戸籍等の受付受理、諸証明発行、福祉の各種相談 など	68-0020 42-2300
	日吉支所総務課	総合支援係・市民窓口係	地域総合支援、戸籍等の受付受理、諸証明発行、福祉の各種相談 など	68-0030
	美山支所総務課	総合支援係・市民窓口係・事業推進係	地域総合支援、戸籍等の受付受理、諸証明発行、福祉の各種相談、土木・農林・上水道の一次対応 など	68-0040
危機管理監	危機管理課	危機管理防災係	消防、防災の計画、危機管理 など	68-0021
地域振興部	情報課	ICT推進係・事務処理係・デジタル改革推進係	情報化推進、内部事務の一体的処理、行政改革 など	68-0066
	地域振興課	定住促進係・交通対策係・地域振興係	定住促進、地域公共交通、J R対策、地域力再生、市民協働、国際交流 など	68-0019
	スポーツ推進課	スポーツ推進係	スポーツ・生涯スポーツの振興施策、スポーツイベント企画・運営 など	68-0003
市民部	市民課	市民総合窓口係 保険年金係	戸籍、住民票・住民異動・印鑑登録 など 国民健康保険、後期高齢者医療 など	68-0005 68-0011
	環境課	環境衛生係	ごみ、環境保全 など	68-0085
	人権政策課	人権政策係	人権政策・啓発、男女共同参画 など	68-0015
福祉保健部 (福祉事務所)	福祉相談課	福祉総務係・福祉総合窓口係	福祉の総合的な相談、生活困窮者支援 など	68-0023
	社会福祉課	生活福祉係・障害者福祉係	生活保護、障がい者福祉、障がい者医療、発達支援センター など	68-0007
	高齢福祉課	高齢者福祉係・介護保険係	高齢者福祉、介護保険 など	68-0006
	健幸まちづくり課	健幸係	健康づくり、市民健診、大人の予防接種 など	68-0016
	地域医療室	医療政策係	地域医療、診療所運営 など	75-1113
農林商工部	農業推進課	農政係	農業振興、農業経営体・担い手育成、畜産振興 など	68-0060
	農山村振興課	鳥獣対策係・林業振興係・農林整備係	農地整備、有害鳥獣対策、林業振興、林道・治山 など	68-0012
	商工観光課	商工係	商工振興、企業誘致、企業支援、ふるさと納税、ブランド推進、消費生活 など	68-1008
		観光振興係	観光施策の企画・立案、観光振興 など	68-0050
土木建築部 技監	都市計画課	計画係・地域整備係・住宅政策係	都市計画決定、開発協議、市街地再開発、土地区画整理、建築確認申請事前協議、市営住宅の管理・入居 など	68-0052
	建設整備課	庶務管理係・施設整備係・道路河川係	道路・河川・街路・公園の整備・維持管理、公共施設の整備等に係る技術的支援 など	68-0051
上下水道部	経営総務課	総務係・経営係	水道料金・下水道使用料の収納・閉開栓の手続き など	68-0064
	上水道課	施設係・事業係	水道の整備・維持管理 など	68-0053
	下水道課	施設係・事業係	下水道・合併処理浄化槽の整備・維持管理 など	68-0054
教育委員会事務局	学校教育課	総務係	教育行政総合企画、教職員人事 など	68-0055
		学務係・指導係	就学、就学援助、教育に係る指導、給食 など	68-0056
	社会教育課	社会教育係・児童クラブ係・図書館係・文化財保護係	生涯学習振興、人権教育、文化財保護、放課後児童クラブ など	68-0057
	こども家庭センター	こども家庭課	事業給付係・相談支援係・母子保健係	手当・祝金、こども医療、ひとり親福祉、児童虐待、家庭児童相談、母子保健、乳幼児健康診査、こどもの予防接種 など
幼児教育・保育推進課		幼児教育・保育係	保育所・こども園・幼稚園、一時保育、病児保育 など	68-0017
会計管理者	会計課		現金の出納・保管、資金計画、決算の調整 など	68-0058
議会事務局			本会議、議案・請願及び陳情 など	68-0059
監査委員事務局			定期監査、出納検査、決算審査、監査請求 など	68-0061
農業委員会事務局	(農業推進課兼務)		農地法に基づく許認可、農用地利用集積計画 など	68-0067
選挙管理委員会事務局	(総務課兼務)		国や府、南丹市における選挙に関する事務	68-0002
公平委員会事務局	(監査委員事務局兼務)		職員の勤務条件に関する措置の要求、職員に対する不利益処分の審査	68-0061
固定資産審査委員会事務局	(監査委員事務局兼務)		固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査、決定など	68-0061

※下線の箇所に変更があります

お電話の際は、市外局番(0771)をおつけください

令和六年南丹市消防団出初式



— 消防団員として自覚と誇り、責任をもって活動する —

1月7日、アスエルそのべで、令和6年南丹市消防団出初式を行いました。式では、西村市長が「消防団を取り巻く環境は、厳しい状況ですが、野中消防団長を先頭にご活躍いただきますようお願い申し上げます」と式辞を述べ、野中消防団長は、「火災だけでなく、自然災害にも対応できるよう取り組んでいきたい」と訓示を述べられました。

そのほか、団員の多年にわたる勤続や功績をたたえ表彰の伝達授与式が行われました。式典後は、車両パレードが行われました。

被表彰者は次の通りです。

(敬称略)

◆京都府消防協会会長表彰

功績章

【八木】副団長▽井尻 喜隆

【日吉】副団長▽近藤 慎一郎

勤功章

【本団】副団長▽小畑 幸洋

【園部】分団長▽和田 秀人

【美山】副団長▽登立 修史

精績章

【園部】分団長▽面田 茂樹／副

分団長▽面村 一孔

【八木】分団長▽明田 和士／副

分団長▽八田 宜典

【日吉】副分団長▽湯浅 弥・和

田 貴士

【美山】副分団長▽藤田 敏雄・

梅津 彰男

【園部】副分団長▽林 哲也／部

長▽犬石 聡也・松本 芳和・

谷 正和・中井 貴信

【八木】副分団長▽岸上 大輔・

住田 庄平・森 嘉伸／部長▽

川勝 敏孝・齊藤 広之

【日吉】部長▽久保田 瑞人・宇

野 俊幸・野林 寿志・塩貝

直・面村 隆一

【美山】部長▽渡邊 憲昭・中野

修・藤原 誉・溝上 智也・中

嶋 竜一

◆丹波地方消防連絡協議会会長表彰
功労表彰

【園部】部長▽樋口 浩之・松井

一也・岡部 淳史・松宮 穰／

団員▽内藤 稔

【八木】部長▽齊藤 博之・都

総司・大西 克則・麻田 昭／

団員▽中辻 文隆

【日吉】団員▽船越 誠・楓 和

宏・小栗 正人・塩邊 友洋・

船越 洋介

【美山】部長▽丸山 剛・村田

有規／団員▽大萱 和人・村上

豊・山崎 芳則

◆南丹市長表彰

市長章

【園部】部長▽馬場 元親・小笠

原 悟司・平田 辰也／班長▽

山本 祐樹・小泉 範幸・山下

剛／団員▽面田 俊彦・中井

芳聡・原田 浩雄

【八木】部長▽小西 健太郎・八

木 直道・西川 優貴／班長▽

梅山 陽平／団員▽川勝 誠・

早野 勝哉

【日吉】班長▽平田 修也／団員

▽湯浅 真人・南口 貴史・和

久田 教文・井尻 均

【美山】部長▽澤田 享征／班長

▽武内 津二／団員▽太田

敬・小林 正之・中上 佳英

◆南丹市消防団長表彰

団長章

【園部】班長▽田井 忍・小森
隆史・森内 高広・中 佑介・
東古 浩明・高屋 和典・仲
正登・平田 史彦・下間 平裕・
安達 徹▽団員▽藤本 義人・
木村 慎太郎・山田 浩之・小
寺 正功・高草 秀悟
【八木】部長▽川人 克年・吉田
盛一・西村 正行▽班長▽松浦
裕一・中川 勝太・寺阪 真二
▽団員▽宅間 俊・松本 慎也・
坂井 昭洋・池田 寛和・明田
雄大
【日吉】班長▽阪田 真悟
【美山】班長▽岩谷 優▽団員▽
名古 祐平・川井 淳介・外田
遼・梶原 龍之介・神田 貴夫・
谷本 将司・齋藤 ろく

勳統章(20年)

【園部】分団長▽和田 秀人▽部
長▽岡部 淳史▽班長▽林 誠
亮・長岡 誠之▽団員▽小寺
栄輔・西田 和矢・八木 尚也・
田中 大司・谷口 敏弘・面田
英人・高屋 正則・片山 雄嗣・
森田 愛三・小寺 純二・大坪
正典・小島 完・奥村 一雄・
奥村 智史
【八木】副分団長▽岸上 大輔▽
班長▽中川 勝太▽団員▽川勝

大輔・川勝 光敏・中川 源・
廣瀬 勝一・今西 敏晃・森
光・永田 昌文・廣瀬 順也・
片山 真司・大狩 朋範・竹野
直樹・中川 剛志

勳統章(10年)

【女性分団】班長▽小林 範子
【園部】班長▽牧野 恭平▽団員
▽藤本 義人・井ノ上 大悟・
井上 和人・板倉 佑磨・野口
高節・森 直道・上田 浩平・
清水 陽平・竹内 誠・小寺
正功・仲 祥太・奥村 幸祐・
野々口 優
【八木】部長▽都 総司・堀田
直樹▽班長▽松浦 裕一▽団員
▽川勝 智也・青木 重徳・中
川 拓也・藪田 達也・松本
勇氣・城内 誠・小森 太智
【日吉】部長▽久保田 瑞人・廣
瀬 拓生▽班長▽坪井 裕輝・
進 裕一・小島 一真▽団員▽
塩貝 晃史・細見 豊・塩貝
智哉
【美山】班長▽梅棹 レオ・宮本

熙仁・藤原 義宗▽団員▽勝山
大督・金谷 史男・谷川 優生・
奥本 達也・川勝 正人・谷本
将司

◆京都府知事表彰

永年勳統功労章

【園部】分団長▽下間 康広
【八木】分団長▽谷 学
【日吉】分団長▽榎本 洋一
【美山】分団長▽大下 裕宣

精励章

【園部】副分団長▽齊藤 武志▽
部長▽中野 学・畑中 美喜雄・
野々口 敦
【八木】部長▽川勝 満・廣瀬
真也・平尾 隆裕・麻田 昭
【日吉】副分団長▽湯浅 正人▽
部長▽吉田 航・廣瀬 拓生・
小林 剛
【美山】副分団長▽下野 佳孝▽
部長▽桂 隆浩・鈴木 繁人・
坂井 祥吾

◆消防庁長官表彰

永年勳統功労章

【本団】団長▽野中 大樹
【園部】副団長▽仲 勝▽団員▽
大下 隆行・塚脇 健
【八木】副団長▽波部 吉宏▽分
団長▽川勝 広行▽団員▽廣瀬
薫

◆日本消防協会長表彰

功績章

【美山】副団長▽福本 修三

精績章

【園部】分団長▽山岸 三洋
【八木】分団長▽藤井 雅章
【日吉】分団長▽永口 智治
【美山】分団長▽戸本 宏樹

勳統章(30年)

【園部】班長▽松本 久志▽団員
▽桂 数義・岩内 忍・野中
憲次・中西 靖・大町 学・岩
崎 学

【八木】部長▽川勝 敏孝▽団員
▽津原 慎・國府 博文・人見
康司・馬淵 和彦・面田 敏・
麻田 一平・小路 紀之・芝原
克幸
【日吉】副分団長▽橋本 達矢▽
部長▽吉田 航▽班長▽圓山
輝昭・前田 辰彦▽団員▽野々
口 和樹・宇野 秀一・湯浅
和彦・藤林 良仁・上坊 直人・
木村 潔・山本 和彦
【美山】団員▽岩間 孝弘・西野
清一



▲パレードの様子

「子ども達を居場所へ導く車両を配備」

12月18日、子ども家庭サポートセンター、愛称「Ruri」にて、送迎車両配備式が執り行われました。

同センターは、家庭や生活環境に様々な背景を有する市内の小中学生に寄り添い支援することを目的に、B&G財団が南丹市に助成し2020年にオープンしました。

送迎車両配備式では、2023年1月から利用対象の小中学校を拡大しており、今後も安全かつ継続的な支援を行うために、B&G財団の助成を受け送迎用車両を配備しました。同財団の菅原悟志理事長は「一人でも多くの子どもが自分の居場所を見つけて、立派に育つ一助となれば嬉しい」と話されました。

12月18日 B&G財団 「第三の居場所送迎車両配備式」



▲西村市長(左)と児童と菅原理事長(右)で記念撮影

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲式典に出席した二十歳を迎える方々

1月7日、南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」にて、二十歳を迎える方の門出を祝う「令和6年南丹市二十歳のつどい」が開催されました。新型コロナウイルスにより、昨年度まで二部制の分散開催をしていた本式典ですが、今年度より一部制を再開しました。会場には、晴れ着に身を包んだ199名の二十歳の皆様が参加し、旧友との再会を喜び合いました。

二十歳代表の大町健悟さんと仲田琉希さんは、故郷である南丹市や今までお世話になった方への感謝と、南丹市で学んだことや仲間がいる大切さを胸に、夢に向かって進んでいく決意を述べられました。



▲式辞を述べる西村市長

「南丹市で生まれ育ったことを誇りに」

1月7日「令和6年南丹市二十歳のつどい」

「部落差別とどう向き合っていくか」

12月9日 人権フォーラム「一緒に考える」(12月9日)



▲講演を行う三木幸美さん

12月9日、園部文化会館で(公財)とよなか国際交流協会職員の三木幸美さんに講演いただきました。

三木さんは、日本人の父とフィリピン人の母の子として被差別部落で生まれ、自分自身が社会的少数派で差別を受けたことや、日本語を上手に話せない母親を差別して後悔したことなどの経験を交え、「人権について学び、考え続けることが、誰もが自分らしく生きられる社会を築くことにつながる」と話されました。

「南丹市が防災に強いまちとなるように」

1月18日 「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」協定調印式 および「配備機材お披露目式」



▲調印書を持つ西村市長(左)と菅原理事長(右)

1月18日に南丹市八木防災広場にて「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」を目的とした南丹市とB&G財団による「協定調印式」および「配備機材お披露目式」が執り行われました。

式典では、災害発生時の緊急対応や避難所運営に必要な防災倉庫、油圧ショベルやダンプ等の資材がB&G財団により寄贈されました。また、寄贈された重機を有効に活用するために、市職員や市内消防団員を対象とした研修に必要な人材育成費用も支援いただきました。

「協定調印式」で西村市長は、災害がいつどこで起こってもおかしくない切迫した状況を踏まえ「B&G財団の支援や真心に報いるためにも、いただいた資材を有効に活用していくとともに、資材を扱える人材の層を厚くしたい」と述べました。



▲寄贈された油圧ショベル

「個性を認め合う共生社会実現へ向けて」

1月18日、29日 人権擁護委員への感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式



▲感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式の様子

1月18日と29日、京都地方法務局園部支局にて、人権擁護委員に対する感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式が執り行われました。京都地方法務局園部支局長から退任される2名に感謝状が、新しく委員に委嘱された3名に委嘱状が手渡されました。

式典の最後に西村市長は「市民がお互いの個性を認め合う共生社会実現のために、皆様のますますの協力をお願いしたい」と激励の言葉を述べました。

「若々しい腎臓を維持するために」

10月31日 R5年度 CKD(慢性腎臓病)予防教室

2023年10月31日、南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」にて、京都府立大学の奥田奈賀子先生を講師に、CKD予防教室を開催しました。

奥田先生は、腎臓の働きは高血圧などの生活習慣病により、自覚症状なく徐々に低下していくため、日頃の予防が大切だと話をされました。

南丹市では、特定健診・すこやか健診にて、腎臓の働きの目安となる「クレアチニン・e-GFR」の検査を行っています。4月から始まる市民健診を受診して、腎臓に優しい生活を見直してみませんか。



▲講演をされる奥田先生(右)と学生さん(左)

警察官と共に学ぶ

南丹市特殊詐欺対策講座

昨今、巧妙化する特殊詐欺の手法を市民の方々に周知し、対処法を身に付けてもらうために、市内で開催された特殊詐欺講座を紹介します。

① STOP 特殊詐欺講座

令和5年12月2日、南丹市八木市民センターにて京都府南丹警察署指導の下、特殊詐欺の対策講座が開かれました。本講座は、八木町南地区自治会と南丹市、南丹警察署が協力し、区民の方がトラブルから身を守ることを目的に開催されました。

講座では、舞台上で演劇を交えながら、電子マネーを用いた特殊詐欺の実態を説明しました。

② ネットトラブルから身を守る

令和5年12月16日、神吉地区自治振興会館で講師には、京都府警察ネット安心アドバイザーを招き、「体験型ネットトラブル講座」が開かれました。この講座では、神吉地区と子ども会、南丹市が協力し、子ども達がネットトラブルに巻き込まれないように、SNS等の正しい扱い方を説明しました。

③ 体験型ネットトラブル対策講座

令和5年11月20日、木崎町老人会館で「体験型ネットトラブル対策講座」が開かれました。参加者に実際に詐欺サイトや偽サイトについて疑似体験をしてもらい、知識や対処法を身に付けてもらうことを目的に開催されました。



問い合わせ先・情報課

TEL(0771)68-0066

地域おこし協力隊レポート



こんにちは。9期の山内麻衣子です。昨年9月より協力隊として活動しています。

2児の母で「旅育(たびいく)」を取り入れた子育てを実践中です。今までは在宅でデザインやライティングのお仕事をしてきました。



「子育て」「デザイン」そして令和3年度に取得した「社会教育士」の経験と知識を生かして『地域活動の発信支援』と『関係人口の創出・拡大』の2つをテーマに活動しています。

テーマ決定後、日吉支所の総務課から「ロビーが閑散としているため、賑やかにしてほしい」との相談を受けて、掲示板デザインに取りかかりました。

掲示板は支所に拠点がある

- ・地域おこし協力隊
- ・定住促進サポートセンター
- ・集落支援員
- ・参農サポートセンター

4つの情報を掲示していますので、日吉支所にお立ち寄りの際はぜひご覧ください。



現地活動などで日吉支所の拠点には不在がちではありますが、地域活動などの発信サポートにも単発で対応しています。支所にいる際はお気軽にお声がけください。

関係人口の創出については、「子育て世代」をメインターゲットに南丹市の魅力を伝えられるイベント・仕掛けづくりに奔走中です。

3年間の任期を全うしてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

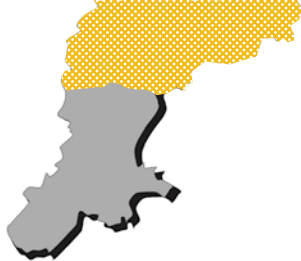
問い合わせ先・山内隊員

メール illustrider0805@gmail.com



南丹市景観計画について

景観計画区域
南丹市美山町地域



南丹市では平成26年4月1日から、景観条例を施行しています。

この条例は、市内に景観計画区域を定め、建築物や工作物の新築・移転、屋根や外壁の塗り替えなどの行為に対して、形状や色彩に一定の基準を設け、南丹市のもつ素晴らしい景観を守っていくための条例です。

南丹市では現在、美山町地域を景観計画区域に定めています。下記の概要もご覧いただき、景観に対してご理解とご協力をお願いします。

景観の小窓



～紹介編～

南丹市景観条例 ～基本理念～

「市民も来訪者もみんな“ほっ”とできる癒しのまち 南丹市」

住む人が「ここに住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」といった愛着と誇りを持ち、訪れた人々が「また訪れたい」「ここに住んでみたい」と感じる魅力ある景観の形成を目指します。

※景観計画の対象区域：美山町全域

届出の対象となる行為

外観を変更する修繕・模様替え (屋根・壁の塗り替えなど)	建築物	工作物
		新築・増築・改築・移転
変更する部分の面積が、正面から見て10㎡を超えるもの	全て届出が必要	高さが8mを超えるものまたは築造面積が10㎡を超えるもの

※土地の形質変更や屋外での物件堆積も、一定の基準を超えると届出が必要です。

※景観形成基準などの詳細については、市ホームページや景観計画のパンフレットをご覧ください。



【南丹市景観計画についてのお問い合わせ先】

南丹市役所 地域振興部 地域振興課 Tel:0771-68-0019

南丹市ホームページ 南丹市景観計画の策定について



南丹市観光協会連絡会だより

ベスト・ツーリズム・ビレッジフォーラムin美山

2月15日(木)に、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会の主催によりベスト・ツーリズム・ビレッジ(BTV)フォーラムin美山が開催され、市内外から約70名が参加しました。

2021年にUNWTO(国連世界観光機関)のBTVに南丹市美山町とニセコ町が認定され、これまで3回にわたり現地での相互交流や、美山町でのニセコ高校の授業の受入などを行ってきました。

2023年には新たに国内4地域(美瑛町、奥松島、白馬村、白川村)が選出されたことを受け、各地域の取り組みや、美山小学校などでの観光教育の紹介を行い、市民も含めて改めて持続可能な観光について考える機会となりました。

終了後には、選定地域の事務担当者会議を行い、BTVのネットワークの設置やその運営について意見交換を行い、今後も継続に関係をもちながら情報共有や情報発信などを行い連携強化を図ることにいたしました。



南丹市インスタグラムフォトコンテスト 2023年11月・12月 優秀賞発表 テーマ「私の大切な場所」



作品名:「茅葺に七色の雨」
撮影場所: (美山町)かやぶきの里
撮影者: @tubu_mama



作品名:「紅葉の中のお地蔵様」
撮影場所: (園部町)龍穂寺
撮影者: @tatuya999



作品名:「紅葉とオレンジに燃える山」
撮影場所: (美山町)大野ダム
撮影者: @hide_y0419

フィルム・コミッション(映像制作を支援する非営利団体)って何?

第4回 「不可能を可能にする、北九州FCの挑戦」

前回紹介した大阪市に続いて、2000年9月に「北九州フィルム・コミッション」を設立したのが福岡県北九州市でした。設立こそ大阪より7ヶ月遅れでしたが、映像作品誘致・支援の取り組みは1989年スタートと、全国でもかなり早いものでした。

2000年9月に広報室イメージアップ班が発展する形でFCが設立されてからも、蓄積されたノウハウを活かして数多くの映像作品のロケを実現させてきました。

もともと北九州市は、工業地帯からの酷い公害や、組織暴力団による暴力の横行から、「公害の街」「暴力の街」などと揶揄される悪いイメージが強く、これを払拭したい、と市は苦慮していました。

このFCが国内外の映像製作関係者から評価が高い理由の一つが「他の都市では実現不可能な大規模ロケ」に積極的に挑戦しているところ。市内の道路を閉鎖しての街中の爆破シーン、空港を使ったハイジャックシーンなど、日本国内の他都市ではできない大規模ロケを成功させてきた実績が「不可能を可能にするロケ地」として評判を呼び、大規模ロケはまず北九州FCに聞いてみよう、と、新たな映像作品ロケの問い合わせや誘致を増やしているのです。

活動をスタートさせたのです。

北九州市が1989年から1999年までの11年間に映像振興に使った経費は、1億円程度でしたが、誘致されたTV番組は475作品。その宣伝効果は52億円に換算されると言われており市のイメージアップへの貢献は目覚ましいものがあつたと言えます。

藤井 真也



南丹市サブカルチャー戦略アドバイザー、南丹市フィルムコミッションアドバイザー。元集英社学芸編集部部長。(映画、アニメ、マンガ、音楽、演劇などエンターテイメントに詳しい)

みんなで描こう

協働のキャンバス 74

宝くじの力で地域の活性化を目指す！

本号では、宝くじの社会貢献広報事業として実施されている「コミュニティ助成事業」を活用した事例を紹介します。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが実施されており、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを主旨としています。

また、宝くじの事業収入を財源として実施されています。



活用事例として、今年度を実施された3団体について紹介します。

美山町の栃原区は、今まで空調設備の無かった公民館にエアコン2台を導入することに加え、LED照明に新調し、集会施設の環境整備を実施されました。また、プリンターの導入により事務機能を充実させ、地域の拠点施設としての機能を向上されました。



▲栃原区が整備された備品

「地域活性化活動の紹介」南丹市編

八木町の青戸区は、パソコン、プリンター、パイプ椅子などの備品を導入され、公民館内の各照明をLED照明に新調することで、円滑に会議や事業を実施することができるよう公民館の事務機能を充実されました。



▲青戸区が整備された備品

園部町の木崎町自主防災会は、地域防災組織育成助成事業として消火栓格納箱と消火用ホースを整備され、地域内各地の老朽化したものを交換することで、消火活動を速やかに進められるよう整備されました。



▲木崎町自主防災会が整備された備品

今年度事業を活用されたこれらのコミュニティ組織は、これを期に今後の更なる地域振興活動の推進、地域防災の強化を目指し活動を継続されます。

問い合わせ先
地域振興課

TEL (0771) 68-0019

なんたん健幸・ノート

健康で幸せなまちづくりのために



きむら しいげる 先生
きむら診療所 木村 茂

歩くことは治療にも効果あり

内科疾患での歩行の有用性は糖尿病・高血圧症から骨粗鬆症・認知症に至るまで幅広く認められています。私も機会あるごとに患者さんに健幸ポイントへの参加をお勧めしています。動かないことによる筋力や身体機能の低下で転倒・骨折で寝たきりになる人はなんと多いことか。

できるだけ「寿命まで歩いていたい」というのが望まれることではないでしょうか。

なんたん健幸ポイントに参加して

そこで南丹市は「健幸ポイント」事業を立上げました。活動量計が個人に配布され、毎日歩く歩数でポイントがたまり、さらに健診や健康教室等に参加することでポイントが加算されます。年度末にそのポイントに応じて最高4,500円分までの商品券に交換され、これがまた歩くモチベーションに繋がります。たかが4,500円と言うなかれ、私も昨年1,500円分もらいましたが、使うときは大変うれしく感じたものです。

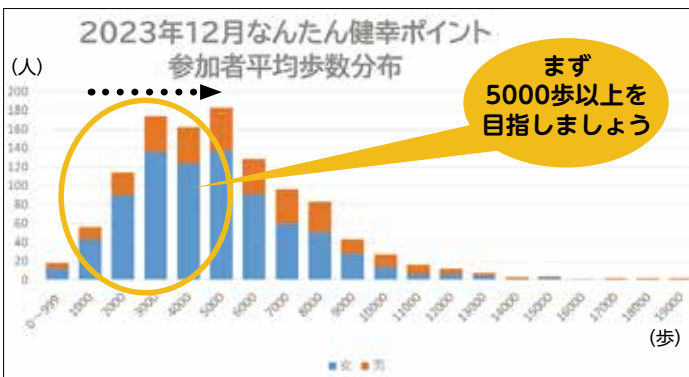
今年は妻も参加するようになり、ポイントを比べ合うことで歩数が伸びてきました。妻は歩いて八木の町に行くようになり、時間がなければ足踏み(私はこれを「から歩き」と言っただけです)をしています。私は現在3640ポイントで4500ポイントを目指しています。自信もついて、今年はマラソンにも挑戦？

みなさんも参加してみてくださいはどうでしょうか？



歩数アップが病気の予防 ストレス解消につながります

左のグラフは、12月の参加者の平均歩数です。参加者は男女ともに3000歩〜5000歩歩いている方が多く占めています。



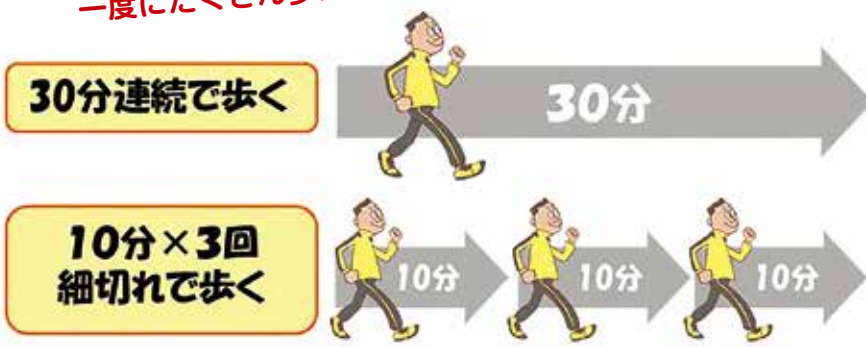
5000歩以上歩くと認知症予防、7000歩以上歩くと動脈硬化、骨折、がんの予防に、8000歩以上で高血圧症、糖尿病、脂質異常症の予防の効果が期待されます。外を歩くことで季節を感じたり、人とのふれあいが増えることでストレス解消の効果もあります。

どう歩くと効果的？ 歩数は足し算で考えましょう！

30分続けて歩くことと、10分間×3回歩くことは効果は同じです。どちらも脂肪の消費、エネルギー量、スタミナのつきかたは変わりません。

自分の生活スタイルに合わせた歩き方で歩いてみましょう！

ちょこちょこ歩いて健康に！
一度にたくさん歩かなくても効果あり！



健幸マイスター



廣瀬 洋子さん

地域の歩こう会ですすめられたのがきっかけでした。はじめ活動量計をつけることを忘れてしまいがちでしたが、3年目になって健康をさらに意識するようになりました。

また、健幸ポイントをしている人との関わりが増えてうれしい。よく笑って、しゃべることが元気のポイントです！

健幸ポイントの達人に
ききました！



健幸マイスターや歩数イベントの上位常連の方に、参加のきっかけや参加されての楽しみ方をお伺いしました。

歩数イベント上位入賞常連



上田 清三さん

毎日、目標歩数の達成が不安でしたが、「毎日達成できなくても1か月で達成できればいい」と教えてもらって、気楽に取り組むことができました。車や自転車をやめて歩くようになりました。アプリでの歩数イベントの国内外の名所めぐりもとても楽しんでます！

健幸マイスター



田中 康代さん

自分が頑張れば必ずポイントが貯まるのが嬉しい！毎日の目標は7000歩。夕方に活動量計をチェックして足りないときは、近所を歩いて調整するのも楽しいです！

アプリからのお知らせも仲間と共有して参加するようにしています。

実行する

- 体重・体型・検査データ改善

はかる

日常の記録

- 食事量の把握
- 運動量の把握

わかる

わかる

きづく

原因の確認

- 何をすべきか
- 何が必要か

目標をたてる

- できることから
- 具体的な目標



この3つが主な取り組みです。毎月のデータ送信・測定をすることで自分のからだのことがわかります。まず、どのくらい歩いているのか普段の歩数を知ることからはじめましょう。

- ① 毎日、活動量計またはスマートフォンを身につける
- ② データを送信する(月1回)
- ③ 体組成測定をする(月1回)
(体重・体脂肪・筋肉量を知る)

なんたん健幸ポイントの

3つの取り組み

● 貯まったポイントは？

日々の歩数に対してポイントが付くのはもちろん、市民健診の受診や健康や運動に関するイベントに参加することでポイントが獲得できます。今年度は南丹市社会福祉協議会の『健康すごろく』ともコラボしました。令和5年度は最大4,500円分の商品券と交換できます。

● 参加するといこといっぱい

来年度も計画しています！

参加すると、毎日の暮らしの中で、健康が維持、向上し、ポイントが貯まり、楽しみながら続けることができます。

引き続き『なんたん健幸ポイント2024』を計画しています。

まだ参加されていない方は4月からの募集の際に、お友達、ご家族、地域ぐるみでぜひご参加ください。

問い合わせ先 保健医療課
TEL(0771)68-0016



「八木東チャレンジ」

八木東小学校では、「八木東チャレンジ」(東チャレ)という取組をしています。以前は、全校児童が同じように取り組んでいたのですが、数年前から相手意識を高める工夫をして、効果を上げています。

一年生から四年生までの児童は、なわとびやけん玉など、十五種目の中から、自分がチャレンジしたい種目を一つ決めます。そして、決められた時間の中で、何度もチャレンジをしていきます。どの種目も十級から始まり、合格すれば昇級していくようになっていきます。最初は難しかった技、覚えられなかったことも、あきらめずに何度もチャレンジすることで、できるようになっていきます。できなかったことができる喜びを、体感することができます。

では、五、六年生の児童はどうしているのでしょうか。実は、種目の「運営」をしています。一年生から四年生の様子を見て、励ましたりアドバイスをしたりします。また、技ができるようになった、覚えられたなど、五、六年生がチェックをして、上達を一緒に喜び合います。教師は、できる限り五、六年生が相手意識をもって

運営できるように、そっと見守ります。

すると、児童どうして「やりとり」が生まれます。「この技、できるようにになったか見て」「どんな技か分からないから見本を見せて」と言ってくる一年生から四年生。「すごいやん。できるようにになったな」「おしかったね。あともう少し頑張ろう」と温かい声かけをする五、六年生。とても素敵です。そんなやりとりの中で、五、六年生は、自分が役に立っている、頼りにされているということを実感することができます。

この東チャレを通して、児童全員が「自分のよさ」を知り、そのよさを大きく伸ばしていくことができるよう、願っています。



▲東チャレ 種目「こま」の練習風景

南丹市立八木東小学校

人権主任 齋藤 慎

齋藤

慎

ふ・れ・あ・い

節分の行事



—第65回—

みなさん、節分には豆まきをしましたか。巻き寿司は食べましたか。節分の豆まきは、大陸文化が広く取り入れられた平安時代に、一年間の無病息災を祈るため行われていた宮中行事が、いつの頃からか豆をまいて鬼を払い無病息災を願う行事として庶民の間にも広まり定着したといわれています(諸説あります)。

では、節分の巻き寿司『恵方巻き』はいいつ始まったのでしょうか。諸説ありますが、一つは、江戸時代末期から明治時代初期に、大阪の商人が商売繁盛の祈願のために始めたという説です。長く忘れられていたが、再び注目されたのは昭和50年代初めに大阪の海苔

問屋組合が行ったキャンペーンだといわれています。海苔の販売促進とコンビニチェーンの宣伝戦略によって、全国的に広がりました。

高齢(アラ還)の私が子どもの頃は、「豆まきはしましたが、巻き寿司を食べる習慣はありませんでした。巻き寿司の丸かぶりの宣伝は覚えていますが。商魂逞しいなあと思います。です。今の若い人たちにとっては豆まきと同じ「みんなが昔からやっている当たり前のこと」ではないでしょうか。

私たちの日常生活の中で「昔からいわれていることだから」「みんながしていることだから」というように、これまで当然のように行ってきたこと、根拠のない事実に基づかない「ならわし・しきたり」は、正しく判断する力を削いでしまっています。それによって「差別」が温存・助長されてきたことは事実です。昔ながらの「ならわし・しきたり」も「なぜ?」「どうして?」と考えてみるのが大切ではないでしょうか。

(人権政策課)

南丹市立図書館

中央図書館 TEL(0771)68-0080
八木図書室・日吉図書室・美山図書室
(休館日:毎週月曜日・祝日)

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/nantan/>

No.105



イメージキャラクター“なびっと”

図書館の企画展示の広報をはじめました!

南丹市立図書館では、毎月さまざまなテーマで企画展示をおこなっています。四季に応じた本や、世の中で話題になっている出来事をテーマにして集めた本等を紹介しています。また、文化博物館とコラボして企画展示をすることもあります。今までは、図書館に行かないとどんな展示をしているのかわかりませんでした。したが、図書館のホームページのほか、南丹市のホームページや南丹市役所LINEでも市民の皆様へ広く広報をはじめました。図書館のホームページからは展示している本のリストも見る事ができます。ぜひ一度、図書館の展示コーナーに足を運んでいただき、お気に入りの一冊をみつけてください。

新刊紹介

『キューちゃんの日記』

文：室井 滋
絵：長谷川 義史
発行：北日本新聞社



キューちゃんは親戚の白ひげのおじいちゃん。お休みの日にキューちゃんの家に行くとおじいちゃんはいろんな話をしてくれました。室井滋さんが実話をもとに絵本にしました。

『どうしてそうなった?! いきもの名前』 ～奥深い和名と学名の意味・しくみ・由来～

著者：丸山 貴史
監修：岡西 政典
発行：緑書房



いきものにはいろいろな名前がついていますが、なぜその名前になったのか、名前の由来や意味をひもといていきます。

暮らしと



—第90回—
消費生活情報

震災に便乗した 悪質商法に注意!

事例1 見た目では自宅に被害はないが、訪問してきた工事業者に「このままでは危ない。すぐに工事が必要だ」と言われた。
事例2 「保険金を使えばタダで住宅修理ができる」と言われたが本当か。
事例3 市役所を名乗り、義援金を集めると訪問されたが信用できるか。



★ひとこと助言★

●地震等の災害が起こると、その際の混乱や被災者を支援したいという気持ちにつけ込んだ便乗商法と疑われる相談が寄せられます。今後、トラブルが広がる可能性がありますので、注意が必要です。

お気軽にご相談ください

- 消費者ホットライン
TEL188(いややー)
- 南丹市消費生活相談窓口
TEL(0771)68-0100
月曜・火曜・金曜(祝日は休み)
午前9時～午後4時
- 京丹波町消費生活相談窓口
TEL(0771)82-3803
水曜・木曜(祝日は休み)
午前9時30分～午後4時

(商工課)

一人で悩まずにご相談ください

●公的機関が、電話や訪問等で義援金を求めることはありません。募っている団体等の活動状況や使途をよく確認しましょう。
●商品やサービス購入でお困りごと、不審に思うことがあります。したら迷わずにご相談ください。

堰水好日 えんすい こうじつ

市長コラム

◆新年は地震速報と大津波警報で始まった。テレビではアナウンサーが避難せよと絶叫する。阪神・淡路や東日本大震災直後の非常な重苦しい気持ちがあみがあった。このコラムを書いて1月28日現在、能登半島地震の死者は230人を超え、半島全域の建物やインフラは壊滅的。多くの避難者は厳冬の寒さに震える。犠牲者へのお悔やみ、被災者等へのお見舞い、捜索・救援活動・避難所運営・インフラ復旧などの関係者の皆様へ敬意と感謝の言葉を何度も繰り返し返したい。

◆日本は地震国。頻繁に全国のどこかで被害の出る地震が起こる。阪神・淡路以降、被害甚大な地震を列挙してみる。新潟中越、能登半島、東日本、鳥取中部、熊本、大阪北部、北海道胆振東部、福島県沖、石川能登、そして今回の石川能登半島。30年以内に70〜80%と、高い確率で発生が予測されている南海トラフ巨大地震や首都直下型地震が発生すれば、日本全域を巻き込む超巨大災害、未曾有の国難事態となる。国による支援システムが機能不全となり、復旧が遅れた場合には国家の存立にかかわる問題になるだろう。

◆日本の行政や経済活動の中核機能は首都圏に集中し、かつ広範なサプライチェーンは地震だけでなく津波による被害を受ける海岸沿い都市圏に大半が立地している。危機が予想されるのに、なぜ日本が事前回避の対応を積極的に起こさないのか不思議である。唯一の方策は機能・役割の国土分散であろう。特に内陸部の活用。全国にはそれなりに鉄道、高速道路、情報通信の網が張られ、分散は十分可能とみる。

◆南丹市内には大きな企業がいくつか立地しているが、本社や主力取引企業本社は東京はじめ首都圏が多い。ひとたび予想される巨大地震が起これば、万事休す。会社幹部の方とたまにお会いしたとき、真剣に「本社機能や生産ラインの分散・移設を南丹市にされたら安心ですよ、ここには大地震発生の歴史はないですよ」と提案する。相手は笑っておられるが、趣旨は理解いたたく。

◆地方の衰退と首都圏一極集中の問題は厳しく指摘されて久しい。特に南丹市の様な急激な人口減少と少子高齢化地域は人々の暮らしや文化、コミュニティ存続の危機に直面している。地方創生の予算が配られているが、比較にならない巨額の税や資金が、来る地震災害で多くを失う大都市に投入され続けている。時代を越え守られてきた日本の農山村を持続

可能な地域に変えるためにも、地震の危機を最小に抑えるためにも、分散型社会の構築は一挙両得の施策となる。目先の利害にとらわれず、国の指導者たちは「分散」を真剣に考えるスタートの年としてほしい。



南丹市長 西村良平

▲庭のマユミの実



●総人口：30,069人(-54)
(男：14,625人・女：15,444人)
(-9) (-45)
●世帯数：14,381世帯(-14)
(令和6年2月1日現在)
()内は前月比



森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市**
なんたんし

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。